

駅からバスに乗って（車窓）を楽しむ
①斜面林・田園風景と里の道 斜面林・田園八景 / ハケの道八景
 新木駅南口を出発し、やがて平和台病院横の「江蔵地通り」の坂道を下ると右手に広々とした水田地帯が現れます。初夏には一面みどり色、秋は黄金色に輝きます。振り返ると、どこまでも続く斜面林とその裾を往く里の道が情緒溢れる昔ながらの風景を呈し心を癒してくれます。

②「新木野」の気になるまちなみ
 やがてバスが江蔵地通りを左折して住宅街に入ると、すぐに市内でも珍しい「住宅街の1キ口直線道」の眺めが目飛び込みます。しばらく巡回する新木野のまちには、垣根を幾何学的に刈り込んだアートな垣根などもあり、バスの窓枠を額縁に気になる風景を探してはいかがですか。

①葺不合神社（ふきあえずじんじゃ）
 国道356号に面した一の鳥居からの参道は、全国的にも珍しい下り参道です。境内に入るとイチヨウの太木や多くの木々に囲まれ、神聖な雰囲気包まれています。二の鳥居、拝殿、本殿は、市指定文化財に指定されています。新四国相馬霊場第77番札所があります。

②古戸の坂の十字路 坂道八景
 ハケの道から斜面林の中に入ると風情漂う坂道があります。坂道を登ると道がX字型に交差し、まるで迷路のような十字路となっています。十字路は古戸稲荷神社への道や、この一帯の住居をつなぐ回廊のような道の交点でもあります。

③天満宮
 天満宮は、利根川沿いの水田を見下ろす台地の東端にあり、地元では天神さまといわれています。現在の社殿は弘化4（1847）年に再建され、梅の木や桜、イチヨウ、ケヤキなどの古木に囲まれています。また境内には、通常見晴らしの良い場所に設置される三角点が設置されています。

④古戸稲荷神社
 神社は、古戸村の鎮守社として創建されました。拝殿の内外には、市内では珍しいこて絵（左官道具のこてで絵を描いたもので、漆喰装飾の一技法）が描かれており、毎年7月23日には祭礼が行われています。また神社入口には、大正初期に建てられた道標があり、利根川や手賀沼に渡船場があったことから、対岸への案内も標されています。

⑤眺望絶景 斜面林・田園八景 / ハケの道八景
 この一帯は、我孫子の台地北面を包む斜面林が延々数キロ続きます。この光景は少し離れた利根川沿いの道から見ると色濃いグリーンベルトがどこまでも続き、手前の水田の色合いと調和し見事な風景を醸し出してくれます。斜面林には谷津が食入るようにあり、所々に農家の佇まいがあり生活の匂いが感じられます。斜面林沿いには曲がりくねったハケの道が続きます。足元の可憐な草花に目をひかれ、梢で鳴く鳥のさえずりを耳にし、時には近頃の街中では味わえない音のない空間を体感できるなど、市内でも数少ない癒しの散歩道です。

⑥順道塚（じゅんどうづか）
 芝原城主の家臣である林伊賀守（順道）が、芝原城落城の際に従士とともに自刃し悲運の最期をとげたと伝えられる遺跡です。※塚は民有地にありますので、道路からご覧ください。

⑦龍泉寺、法照院
 龍泉寺は、弘法大師が関東を巡った折り、手賀沼の風景を愛し、湖畔の草庵に留まり創建したと『湖北村誌』に記されています。その後、天文年間（1532～1555）に当地に移り、新四国相馬霊場第76番札所があります。法照院は現在廃寺で、跡地の中峠上青年館に祀られており、新四国相馬霊場第28番札所があります。



新木ルートの見どころ
 新木ルートの周辺は、地域の人たちが大切に守り伝えている神社仏閣が多く存在し、広大な田園や豊富な斜面林などが緑にあふれ、歴史と文化が薫り、古（いにしえ）に懐いを馳せるところです。

散策コース①
 この散策コースは、湖北駅北口から新木駅南口行のあびバスに乗り、上「上新木」で降りてスタートします。国道356号南側の古くからのまちなみを色濃く残す日秀、中里、中峠の各地区と、開発整備された湖北台住宅地の一部を巡ります。見どころは、日秀地区から中里、中峠地区に点在する由緒ある神社仏閣、歴史を感じる門構えの旧家、そして市民が自然とふれあい親しみながら自然観察や自然体験ができる中里市民の森と、市民の森の南側に広がる手賀沼干拓地の風景です。

散策コース②
 この散策コースは、新木駅南口から湖北駅北口行のあびバスに乗り、新木県営住宅で降りてスタートします。国道356号北側の自然と田園風景の多いコースです。見どころは、新木地区から古戸、中峠地区に点在する由緒ある神社仏閣、利根川沿いに広がる田園とその風景、台地と農地の間にある我孫子ではハケの道と呼んでいる変化に富んだ道です。

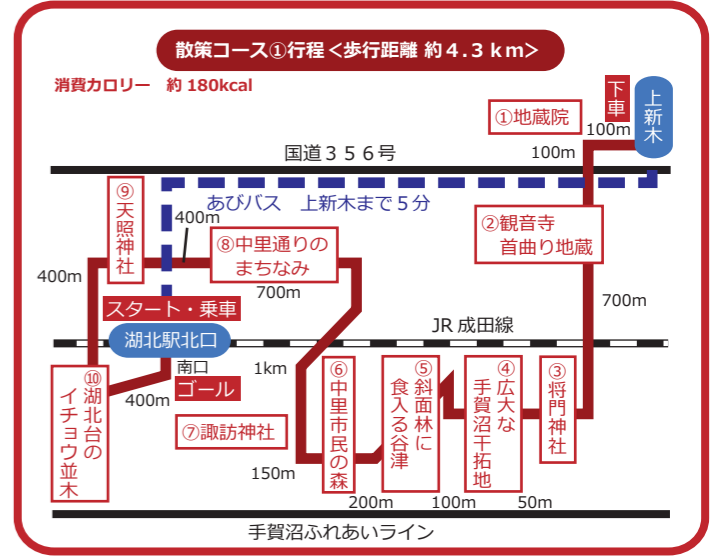
散策にあたってのお願い

1. 散策コースは、主に歩道のない道を歩きますので、車や自転車などには十分ご注意ください。
2. 道沿いのビューポイントは、周辺の方々日常生活の中で長年にわたって育んだものです。マナーを守って散策をお楽しみください。
3. あびバスの利用には折込みの時刻表をご活用ください。
4. 散策コースにはトイレが少ないのでご注意ください。

我孫子のいろいろ八景について
 「我孫子のいろいろ八景」は、多くの方々に魅力ある我孫子市の風景を知ってもらうため、市が平成24年度から実施している事業です。テーマごとに市内でいつでも誰でも見ることが出来る場所を市民に探してもらったもので、これまで「公園」「坂道」「成田線車窓」「まちなみ」「ハケの道」「斜面林・田園」「桜」「水」の各八景を選定しました。詳しくは、市のホームページ、または主な公共施設に配置してある「我孫子のいろいろ八景見聞綴り」をご覧ください。

「あびバス景観散策マップ」新木ルート編

発行 平成27年8月
 発行者 我孫子市都市計画課 景観推進室
 千葉県我孫子市我孫子1858番地
 電話04-7185-1111（代表）
 企画・編集 我孫子の景観を育てる会
 【非売品】



①地蔵院
 江戸前期に創建され、僧侶が居住していたといわれています。お堂には、1,227体の千体地蔵が納められており、新四国相馬霊場第25番札所があります。

②観音寺、首曲り地蔵
 観音寺は、地元では日秀観音と呼ばれ、平将門守り本尊の観世音菩薩が安置されており、新四国相馬霊場第29番札所があります。門前にはイヌマキの巨木があり、市の保存樹木に指定されています。春には桜の太木が見事な花をつけ本堂を包みます。境内の一角、国道356号に面して立っている地蔵は、小首をかじげた不思議な姿ですが、将門調伏（ちょうぶく）の祈願をした成田不動尊を嫌い、成田に顔を背けた姿といわれています。地元の人たちが、「首曲り地蔵」と呼んでいます。

③将門神社
 戦没した将門の霊が遺臣たちとともに手賀沼を騎馬で渡り、沼のほとりの丘の上で日の出を拝したと伝えられています。その伝説の地に霊をまつり鎮守としたのが当神社の起源であるといわれています。近くには平将門が軍用に供したと伝えられる、将門の井戸があります。

④広大な手賀沼干拓地 斜面林・田園八景
 将門神社横の高台から、眼下に広大な干拓地が望めます。干拓地からは空気の澄んだ日には、田園の向こうに富士山を望むことができます。

⑤斜面林に食入る谷津
 将門神社裏手の森の小径を下ると谷津に出ます。両側は鬱蒼とした樹木に囲まれ、かつて手賀沼の増水を防いだ名残りの「常敷堤」があります。

⑥中里市民の森 斜面林・田園八景
 市民の森は、市民が自然と触れ合い、親しみながら散策と自然観察ができる場として整備されています。広さは3.4ヘクタールで、イヌシテ、サクラ、シラカシ、クリ、スギなどの樹木があり、鳥や昆虫類も多く四季折々に自然観察を楽しむことができます。

⑦諏訪神社
 諏訪神社の森にはイヌシテ、シラカシなど多くの市指定の保存樹木があります。当神社は伝統行事が多く、10月の例大祭は、神輿（みこし）が中里区内を練り歩きます。

⑧中里通りのまちなみ
 中里通りは、国道356号に並行して走る道で、道沿いには中野家と星野家の旧家や薬師堂の史跡が古（いにしえ）の面影を残すところです。
 ・中野家の正面に構える四足門と道沿いのレンガ塀は、明治14(1881)年建築で旧家の威風を今に伝えています。
 ・星野家は、江戸初期からの旧家で、正面の荘厳な長屋門は道行く人の目を引きまします。※両家とも個人住宅ですので道路からご覧ください。
 ・中里薬師堂は、薬師三尊と十二神将が祀られています。いずれも江戸後期に作られ、両者が揃っているのは貴重な例です。

⑨天照神社（てんしょうじんじゃ）
 創建は古く、日本武尊（やまとたけるのみこと）が東征の途中、武運を祈願したと伝えられ、湖北七郷の総鎮守として崇敬されています。また神社には富士塚があり、毎年「富士山の山開き」の前日には参道に縁日の屋台が並び、大勢の人たちで賑わうところです。

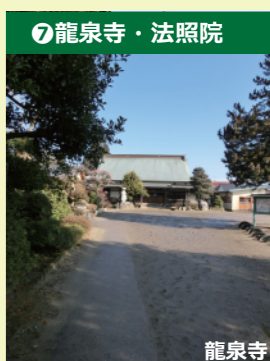
⑩湖北台のイチヨウ並木
 湖北台のまちの中央には東西に走るゆったりとした曲線の「四季の道」があり、長く続くイチヨウ並木や湖北台団地沿いの緑地帯が緑豊かなまちなみを形成しています。秋には黄色く染まった並木道が、季節の変化を感じさせてくれます。

散策コース

<あびバス>乗車 ①湖北駅北口
②新木駅南口

あびバス路線 ●●●●●
散策コース ① — ② —
丸数字：ビューポイント（散策順）

凡例
バス停 ● 史跡 ▲ 斜面林 ■
トイレ ♀ 坂道 ▲



我孫子インフォメーションセンター アビシルベ
我孫子駅南口にあるアビシルベでは、我孫子市のさまざまな観光やイベントの情報を発信していますので、ぜひご利用ください。☎ 04-7100-0014

